

令和元年度「新潟の産業・企業を知る講座等」実施報告書

1.新潟の産業・企業を知る講座（地域振興論）

○目的：新潟県内の経済・社会の振興の現状に多角的かつ総合的な視野を得、自分の育った、あるいは住んでいる地域の振興に興味を持ち、地元就職促進に繋がるよう授業を進めた。

○取組概要

「地域振興」のあり方について、総合的な視野から、さまざまな業界の外部講師による講義をオムニバス形式で実施した。また、新潟県内の企業や自治体を訪問し、地域の産業を見聞した。

○対象学年：経済経営学科2年生全員・その他希望する履修者

○参加学生数：57人（4年生 1名、3年生 3名、2年生 51名）

○実施時期：10月4日～11/22 毎週金曜日3限 講義は1回あたり90分

10/29、11/9、11/26、11/29、12/13 フィールドワーク5回

実施日	内容	担当	参加学生数	備考
9/27（金）	「地域振興論」概要 ※この回のみ本学教員	新潟産業大学 教授 梅比良眞史	42	
10/4（金）	海の観光	小竹屋旅館 枋堀 耕一 氏	38	講師料
10/11（金）	ワーク・ライフ・バランス 基本のき	新潟県産業労働部 関 花恵 氏	43	
10/25（金）	企業紹介・企業のCSR活動	株式会社ブルボン 小保方 薫 氏	45	
11/1（金）	ものづくりの歴史と企業誘致	柏崎市産業振興部 本間 和人 氏	41	
11/8（金）	スポーツ・ツーリズム産業	PVK株式会社 入澤 勇太 氏	47	講師料・交通費
11/15（金）	十日町市 新規就農への挑戦	ゆきのひ設計室 佐藤 幸治 氏	46	講師料・交通費
11/22（金）	フィンテック革命 ～デジタルで気付く銀行新時代	株式会社北越銀行 小林 幹央 氏	34	交通費
延べ合計数				336

○企業等の見学

実施日	見学先	参加人数	備考
10/29（火）	株式会社スノーピーク（三条本社）	49	
11/9（土）	マルソー株式会社（長岡新産 SLC）	34	
11/26（火）	朝日酒造株式会社	2	
11/29（金）	柏崎市消防本部	42	
12/13（金）	株式会社テック長沢	36	
延べ合計数			163



○事業効果等

講座終了後のアンケートによると、ほとんどの学生が「県内企業への興味関心が高まった」に回答した。また、「県内企業を理解するため方法」では、「企業見学」との回答が多数で、実際に企業見学をした際には、積極的に質問している姿が多く見受けられたため、就職を意識するには良い機会になったと感じる。

2. 県内企業を知るための企業見学

(1) 事業目的・概要

県内企業等さまざまな分野を実際に見聞することで、魅力ある就職先に出会えるよう、その機会を学生に提供する。その効果として、地元への理解と県内企業への就職促進を図る。各学生が専攻している分野を活かし、就職に結びつけることも視野に入れているため、異なる分野の見学を企画した。(各科目において実施)

(2) 日程等

	期 日	内容・行き先	科目名等	参加学生数
1	8/7 (水)	朝日酒造・良寛牛乳	アグリ・フードゼミ	12人
2	8/7 (水)	留学生企業見学 (株式会社ブルボン)	留学生…コーディネーター役 (チューター) 実施	15
3	10/3 (木)	燕三条工場の祭典	地域理解ゼミナール	24
4	10/12 (土)	株式会社農プロデュースリッツ・小千谷市錦鯉の里・小千谷総合産業文化会館「サンプラザ」	アグリ・フードゼミ	6
5	10/26 (土)	福祉・介護・健康フェアの上越会場と出雲崎特別養護老人ホームやすらぎの里	社会保障論	18
6	2/6 (木)	フルサット (株式会社 北信越地域資源研究所)・旧今井染物屋 (社団法人 雁木のまち再生) の見学	まちづくり基礎	13

(3) 各回の概要

①アグリ・フードゼミ (1、4)

○目的：県内企業の見学を通じて、企業研究・業界研究の場を提供する。また、実際に働く現場を

見学することで、職業観を形成し、就職に対する意識の向上を図る。

○取組概要

○対象学年・募集定員：3・4年生25人（アグリ・フードゼミ学生）

○参加学生数：3年生 8人、4年生 7人

○実施時期：令和元年8月7日、令和元年10月12日（全2回）

9時から16時、1社当たり120分程度

○訪問先企業等

実施日	企業名（業種）	参加者数
8/7（水）	朝日酒造株式会社・株式会社良寛	12人
10/12（土）	株式会社農プロデュースリッツ・小千谷市総合産業文化会館「サンプラザ」・小千谷市鯉錦の里	6人
延べ合計数		18人

○企業の選定方法

新潟産業大学のアグリ・フードビジネス分野のゼミナールとして、新潟県内の食品・農業の実態を知り、この分野の産業の現場を体験するといった観点から企業を選定した。



○事業効果等

見学により、県内のアグリ・フード分野を取り巻く環境を理解することが出来た。

・2019年8月7日（水）

株式会社朝日酒造では、日本と新潟の日本酒の生産の現状と展望、そして株式会社朝日酒造の日本酒の生状況、海外への販促努力についての説明、生産現場を見学した。質疑応答では、朝日酒造の日本酒の特徴についての質問、海外で販促活動には、現地の慣習を理解した方が良いとの提案がなされた。また、株式会社良寛では、会社の概要説明、工場の見学を行った。

アンケートでは、県内企業への関心が高まったと回答した学生がほとんどであった。

・2019年10月12日（土）

株式会社農プロデュースリッツでは、積極的に全国展開をしている農業経営の多角化・6次産業化について説明を受けた。

また、小千谷市鯉錦の里を見学し、新潟が誇る特産品の錦鯉についての説明、施設見学を行い、輸出の話では留学生たちがたいへん興味を示した。

アンケートではすべての学生が、県内企業への興味関心が高まったと回答した。

②留学生…コーディネーター役（チューター）実施（2）

○目的：県内企業の魅力を伝えることで、県内就職促進を図ることを目的とする。

○対象学年：全学年

○参加学生数：15名

○実施時期：2019年8月7日（水）14:00～16:30

○訪問先企業：株式会社 ブルボン 松波工場（柏崎市松波4丁目2-14）

○企業の選定方法：外国人を受け入れている地元企業であることから、見学先に選定した。

○事業効果等：

外国人の県内企業における雇用状況や見学先企業の魅力を知ることが出来た。

ブルボンの歴史や会社概要や工場についての説明を受け、工場現場を見学した。



③地域理解ゼミナール実施（3）

○目的

新潟を代表する工業集積地である燕三条を知ること、県内での就業を意識する機会とすることを目的とする。

○対象学年：1年生

○参加学生数：24人

○実施時期：令和元年10月3日（木）

○見学先：燕三条工場の祭典（燕三条地場産業振興センター）

○事業効果等

地場産業を対外的に紹介する「燕三条トレードショー」を訪問した。各企業ブースの説明では、燕三条エリアでのものづくりについて理解を深めることが出来た。課題レポートの課題の感想は、燕三条をより知ることが出来たという声が多数聞かれ、就職の選択肢の一つとして検討する良い機会となった。アンケートによると、ほとんどの学生が、県内企業への興味関心が高まったと回答した。



④「社会保障論」（5）

○目的：多岐にわたる福祉分野で、特に高齢介護の分野において深刻な人材不足となっている。新潟県内や柏崎市内においても同様である。

身体介護（介護員）職だけではない、生活相談（相談員）や福祉機器の貸与・販売等の仕事を知る

ことにより、介護業界における県内就職促進につなげることを目的としている。

○対象学年：3年生以上

○参加学生数：18人

○実施時期：令和元年10月26日（土）

○見学先：特別養護老人ホーム（やすらぎの里：出雲崎町）

福祉・介護・健康フェア：上越会場（リージョンプラザ上越）

○事業効果等

特別養護老人ホームを訪問では、地域における施設の役割や介護に関わる多職種の説明、業務内容の説明を受け、現役介護職員の案内で居室や設備等、施設内を見学した。次に、県内企業が参加する展示会である、「福祉・介護・健康フェア（上越会場）」に参加した。先に施設を見学したことにより学生たちの意識も高まり、様々なブースを積極的に訪れ、介護分野への理解を深めることが出来た。ほとんどの学生が、県内企業への興味関心が高まったと回答した。



⑥（株）北信越地域資源研究所（フルサット）、社団法人雁木のまち再生（旧今井染物屋）見学（6）

○目的：県内の地域資源を活かし新ビジネスを立ち上げた企業や団体を訪ねて、事業立ち上げまでのプロセス等の説明を聞き、若者による県内で新しいビジネスの立ち上げ、また先行してビジネスを展開している団体等に参画、就職することを選択肢の一つとして考え、行動をおこすことに繋げることを目的とする。

○取組概要

○対象学年：1年生以上

○参加学生数：13人

○実施時期：令和2年2月6日（木）

○見学先：雁木町家 旧今井染物屋（新潟県上越市大町5-5-7）、フルサット（上越市大和5-26-1）

○事業効果等

城下町高田の町家に古くから継承されている風景である「雁木」を守りながら、170年前に染物屋を営んでいた家屋を地域資源として、保存、活用している活動を見学した。

地域の方々が講座等を開講し、楽しみ、集いにも利用されている。伝統的な日本家屋の活用方法に、学生達、中でも留学生は興味深い様子であった。歴史的な建造物を守る、維持するだけでなく、そこに新たな地域活性化やビジネスの可能性を見出すことができた。

アンケートでは、ほとんどの学生が、県内企業への興味関心が高まったと回答した。



「フルサット」は北陸新幹線開通に伴い、新設された上越妙高駅西口に位置する商業施設である。新幹線駅の乗降客に注目し、新たな賑わいを創出することを目指している。コンテナを活用した店舗は、コンパクトなスペースながらもそれぞれ趣向を凝らした個性的な飲食店や土産物店、ビジネスオフィスなどがあり、中でも、キャッシュレスコンビニエンスストアが試験的に運用されており、新しいビジネスの可能性を実感することができた。新たな賑わい創出に挑戦する取り組みに県外や首都圏からの視察も多いそうである。学生たちはこうした新たな取り組みを学ぶことで、地域密着の飲食店や土産店の経営、小売店を取りまとめるコミュニティビジネスの可能性について考える契機となった。



3. 県内企業で活躍する人材の講義

1) 留学生の日本（新潟）での就職についての講義 準備・情報収集・就職状況等

○目的：留学生の就職に特化した講座を開催し、県内企業の魅力や外国人の企業における雇用状況等をお話いただき、学生の県内企業への関心を高めることを目的とする。

○取組概要

留学生のキャリアデザイン授業内に於いて、専門の講師を招聘し、就職講座を開講した。

7/25 (株)リクルートキャリア 福田真由 氏、12/12 (株)マイナビ 比留間 健人 氏

○対象学年：7/25 2年生、12/12 1年生

○参加人数：7/25 35人、12/12 35人

○実施時期：令和元年7月25日（木）、12月12日（木）

本講座を通して留学生の新潟での就職状況、企業、職種などへの理解を深め就職のための事前準備について知ることが出来た。低学年を対象とした講座であるため、就活をスタートさせる高学年よりも前に講座を実施することで、就職を考え始める良い機会となった。



2) 地元就職のメリットと地元情報サービス企業の紹介講義

教職課程科目「教育方法論」における外部講師による講義

○目的: 地元の ICT 企業の紹介や地方における ICT 産業の可能性についてお話いただき、新学習指導要領において新たに小学校で導入される「プログラミング教育」の基本的な考え方を知った上で、実際の授業を想定したプログラミングソフトの活用方法を学ぶ。教職課程履修学生に対して、教育改革の最新動向を実践的に学び、教員採用試験に向けての意欲を喚起させ、県内の中学、高校の教員としての就職者の増加を目指す。また、ソフトウェア開発や ICT 教育プログラムの提供等を手掛ける地元の IT 企業への理解を深め、教員以外の就職先の選択肢として考える契機とする。

○取組概要

「地元就職のメリットと地元情報サービス企業の紹介/小学校におけるプログラム教育の実践」

講師:(株)カシックス 齋木太郎 氏

○対象学年: 2年生以上

○参加人数: 8 人

○実施時期: 令和2年2月4日(火)

○事業効果等

柏崎市内の情報サービス企業「カシックス」の齋木太郎氏による、地元の ICT 企業の紹介や地方における ICT 産業の可能性についてお話いただいた。また、新学習指導要領において新たに小学校で導入される「プログラミング教育」の基本的な考え方、また、講師が実際に小学校で実施している「scratch (スクラッチ)」ソフトを使いプログラミング教育の実践について体験的に学んだ。

また今回の講義は、必ずしも中学高校の教員を目指すための学びに留まらず、文系学部出身でも、地元の ICT 企業就職への関心を持つ、良い契機となった。また、ICT 関連の知識、技能はスポーツ産業、農業など、様々な職業にも連動し、その性質上必ずしも都市部へ行かなくとも、地方でこそ必要とされる、活かせる技術であるということが理解できた。



4. 県内企業に就職した卒業生と学生の懇談会

○目的: 県内で働く OB・OG より、就職活動から就職後の現在に至るまでの体験談を通じて、県内企業への理解と魅力を伝え、地元就職への関心を高めることを目的とする。特に就職活動については、OB・OG 自身の就職活動を社会人の視点で振り返った中でのアドバイスをもらうことで、就職活動をスタートする 3 年生に対し、就職活動の本質を理解させる。

○取組概要

パネリストは、現在の業務の内容ややりがい、魅力、社会人になって気づいたこと、職業選択をする上で必要なこと、学生時代の就職活動の振り返り、学生時代の過ごし方などを聞き、学生からの質疑応答

に答える形で進めた。

○対象学年：3年生

○参加学生数：3年生 17人

○実施時期：令和元年11月26日（火）

○講師等：授業担当教員 橋本康正（本学非常勤講師）、パネリストは下記の5人

	実施日	企業名（業種）	講師名（卒業年度）
1	令和元年 11月26日（火）	エヌエスエレクトロニクス㈱（製造業）	星野 優里氏（2017年度卒）
2		日産プリンス新潟販売㈱（小売業）	高橋 桃花氏（2016年度卒）
3		㈱マルイ（小売業）	種岡 健太氏（2015年度卒）
4		柏崎市消防本部（地方公務）	大滝 雄一郎氏（2013年度卒）
5		源川医科器械㈱（卸売業）	荒井 大氏（2017年度卒）

○企業の選定方法

過去5年間で本学からの就職実績のある企業の中から、在学生の関心の高い業種・企業を選定した。講師の選定にあたっては、在学中に課外活動やサークル活動に熱心であったことも考慮して依頼した。



○事業効果等

質問では、「仕事のやりがい」や「企業選択のポイント」、「現在の仕事への不満」など、現在の仕事にどういう気持ちで取り組んでいるかを問うものが多かった。パネリストの回答に対しては、「年齢の近い人の実体験は心に響いた」「今まで意識しなかった業種の魅力を発見できた」といった声が多く聞かれた。

実施後のアンケートでは、本取組により県内企業への関心が高まったと答えた学生は94%であり、「希望しなかった業種への関心が高まった」などの感想が多く見られたことは、就職活動に対するプラスの効果だと言える。

○インターンシップ参加促進の取組

本学では、「インターンシップ」を3年次基礎科目に設定し、カリキュラムに組み込むことにより、参加促進を促しており、令和元年度は2名の学生が単位修得をした。

また、就職担当課では、可能な限り多くのインターンシップ情報提供し、参加を呼び掛けている。

インターンシップ参加学生からは、就職選択をするに当たってのプラスの体験になったとの声が聞かれ

ることから、今後もさまざまな形でインターンシップ参加を促進させて行きたい。

○企画全体としての今後の取り組みについて

今後は授業の中で、さまざまな視点から新潟県内への就職促進を促す取り組みを行うのと同時に、より多くの県内企業を取り上げることで、さらなる魅力を情報発信していくこととしたい。